

Fureai

Fujita Related All Information

2019 9.1
Vol.
272

【新執行役員 薄板事業部長 挨拶】

能力を結集し組織力を向上

——近藤 秀人

【新薄板事業部 副事業部長 挨拶】

皆さんと共に進化発展を

——大花 謙一

【2019夏 インターンシップ・採用活動レポート】
学生に興味・関心を持ってもらうために

新執行役員

薄板事業部長 挨拶

個、部署の知恵と能力を結集し、『組織力』を向上

この度、5月16日付けで執行役員および薄板事業部長を拝命致しました近藤秀人です。宜しくお願い致します。1982年に入社以来、東北コイルセンターを2度、郡山コイルセンター、三条支店と3拠点に勤務致しました。その間、生産、オーダー編成、営業と様々な経験をさせて頂きました。勤務は薄板事業部一筋ですが、中期経営計画がスタートして以来、全社目線の販売活動に視野を広げ、今では藤田金屬の取り扱い商品全てを意識し、お客様と接することで、販売機会が格段に広がったと認識しております。これは私だけではなく、社員一人ひとりの意識も変わったと思っております。

今期から新たな中期経営計画がスタートしております。様々な課題はありますが、加工品、新分野、新領域について、お客様から必要とされる役割、機能を有する『企画提案力』を磨き、新たな収益基盤にする。既存事業については変化が速く激しい中、どの時代でも対応できる『コスト競争力』を更に向上させる。そして、個、部署が時代に合った考え方に変えて知恵と能力を結集し良好なコミュニケーションを通して『組織力』の向上へと繋げていきたいと思えます。これらを強化し、全員参加で安全、安心な職場を築いていきたいと思えます。今後も宜しくお願い致します。

執行役員
薄板事業部長
兼 三条支店長

近藤 秀人



新薄板事業部長 挨拶



薄板事業部 副事業部長
兼 東北コイルセンター支店長

大花 謙一

皆さんと共に進化発展していきたい

皆さんこんにちは。この度、薄板事業部 副事業部長 兼 東北コイルセンター支店長を拝命致しました大花です。薄板事業部以外の方は誰？と思われる方も多いかと思えますので簡単に自己紹介まで。

1967年生まれ、52歳。大学卒業後、東京のコイルセンター / 古賀オール株に入社、その後、Uターンしてレッカーリースの米原商事株へ。1997年1月、藤田金屬にお世話になり、入社22年目に突入し薄板一筋で奮闘中です。

今までで一番印象に残っていることは、仕事中に東日本大震災に見舞われたこと。8年以上経過した今でも、高台に避難し小学校の体育館で一夜を過ごしたことや、翌日会社まで行くこうと思ったら水が引かず辿り着けなかったこと等々、ついこの前の様に思い出されます。

最後に今後の抱負ですが、新たなスローガン『動く変る 次代をつかみ自ら進化発展する企業へ』を体現できるように、日々のコミュニケーションを大切に、皆さんと一緒に進化発展していきたいと思えます。それでは皆さんご安全に!!

小集団活動発表会レポート

2019年8月31日、東京都千代田区永田町にある星稜会館にて開催された、関東コイルセンター工業会主催の小集団活動発表会に参加させていただきました。

400名収容可能な大きな会場がほぼ満席の状態で、自社サークルの応援もさることながら、他社の活動を参考にしようとする皆さん真剣な眼差しで聴講し、広い会場全体が熱気に包まれていました。

今回は13サークルが参加し、藤田金属を代表して長野コイルセンター／生産チームスリッター班が4番目に登場。「ライン停止時間の削減による作業効率の向上」をテーマに発表を行いました。

テーマ選定、要因分析、問題点の抽出、効果の確認、資料の作成等々、限られた時間の中で活動だったと思いますが、大変素晴らしい内容でした。今回の活動内容が薄板事業部をはじめ、ステンレス特殊鋼事業部も含むコイルセンター全体に横展開されることを期待しています。

なお、他社の取り組みとなりますが、属人化された業務の平準化や配送におけるトラック待機時間削減等の取り組みがあり、我が社が抱えている同様の問題・課題解決の糸口として参考になると感じました。

最後に一言、生産チームスリッター班の皆さま、お疲れ様でした。



全国各地から集結した13サークルの代表が、発表を行いました。



藤田金属からは、長野コイルセンター／生産チームスリッター班が登場。

提案制度・改善報告制度

～ 皆さんのアイデアや改善を提案してみませんか ～

1994年より一部の事業所で運用されてきた規定や審査基準の見直しを図り、2019年8月より新たに「提案制度」「改善報告制度」がスタートしました。

提案制度

会社や所属の事業所・部署の業務・材料・設備・製品等に関して、実現の可能性がある改善や革新の参考となる提案・提言・アイデアに対して、500円の提案賞が褒賞される制度です。

改善報告制度

会社や所属の事業所・部署の業務・材料・設備・製品等に関して、改善活動を実施し金額効果が出た活動に対して、効果の金額に応じて褒賞（F賞～S賞）される制度です。

表彰等級	金額効果の目安 (1カ月の削減効果)	褒賞金	審査
S賞	700,000円以上	100,000円	事業部長・管理本部長
A賞	450,000円以上	70,000円	事業部長・管理本部長
B賞	200,000円以上	50,000円	事業部長・管理本部長
C賞	125,000円以上	20,000円	所属長・改善委員
D賞	75,000円以上	10,000円	所属長・改善委員
E賞	25,000円以上	5,000円	所属長・改善委員
F賞	25,000円未満	1,000円	所属長・改善委員

※表彰等級は金額効果の他、「安全衛生」「品質」「着想・努力」「その他」による加点項目で決定します。

2019夏 インターンシップ・採用活動レポート

会社の安定的かつ長期の事業運営には若手人材の採用が欠かせません。当社も毎年新卒採用を行っておりますが、近年、採用の現場は大きく変化しています。主に大学3年生を対象としていたインターンシップ(就業体験)は、今や2年生、1年生も参加するものへ変わりつつあります。また高校2年生を対象としたインターンシップも定着化しています。

ご協力いただきました各営業店の皆様には、この場をお借りして心より御礼申し上げます。今年度、上半期に実施した主な活動につきまして、ご報告させていただきます。

Report 01 大学生のインターンシップ(計24名参加)

◆3社合同インターンシップ(8/5~8/8)：11名参加

セコム上信越(株)様、(株)シアンズ様と合同でインターンシップを行っています。4日間の内、1日1社ずつ体験し、最終日には集合研修を実施しました。藤田金属のインターンシップでは、午前中に会社概要の説明等を行い、午後からPowerPointを使つての建材や営業活動の説明、および新潟ヤードでの商材説明をしていただきました。その後は、2名の社員に参加いただき、座談会形式で学生の質問や不安、悩みに真摯にお答えいただきました。最終日はもう一度藤田金属本社に集まり、やすらぎ提でBBQをした後、会社で自身の価値観を考えるグループワークを行いました。

インターンシップ実施企業が増える中、何か他社と差を付けられるものと考え、一昨年からBBQを始めました。企業側としては、BBQを参加者増加のための目玉の1つにするとともに、会議室では見えづらい学生の個性を見ることが出来ます。BBQを終えると和やかな雰囲気になり、グループワークでは率直に意見を交換する姿が見られました。

◆5daysインターンシップ(8/26~8/30)：4名参加

当社単独かつ長期のインターンシップであり、商社や営業に特に興味を持つ学生の参加が多いです。ここ最近5日間の内3.5日は営業店へ訪問し同行営業等をお願いしておりましたが、今回は社内での営業活動も体験し、より営業全般の理解を深めてもらえるようにと考え、1.5日を社内でする営業体験ワークに切り替えました。0.5日は経理部より会社のお金の流れを学ぶとともに、実際に紙で限度申請を行いながらその仕組みを習得してもらいました。残りの1日は新規顧客を例に、顧客ニーズのヒアリングから見積書の作成・提案、メーカーへの契約申込、加工指示書作成等、一連の営業活動を体験してもらいました。

参加学生は初めて聞く単語や体験に戸惑いもあったようですが、その都度、社員より具体的なアドバイスを受け、楽しみながら積極的に取り組んでいました。また、同行営業では三条支店と新潟支店のお客様を訪問し、最終製品や現場で実際に商材が使われている所を見て、お客様との関わり方・社会的な役割を実感できた様子でした。

◆1dayインターンシップ(9/4)：9名参加

当社単独ですが1日開催ということもあり、気軽に参加しやすい内容となっています。最近には特に1dayインターンシップにたくさん参加し、より多くの企業を知りたいと考える学生が増えています。1日ながら、建材の説明と見積書の作成ワーク、また座談会を行いました。

学生にとっては馴染みがなく、堅いイメージすらあった鉄鋼商社の仕事ですが、インターンシップを通してイメージが良い方向へ変わり、実際に自分の目で見ることの大切さを実感したようでした。

Report 02 高校生のインターンシップ(2名参加)

7/31~8/2の3日間、三条支店にて白根高校の2年生を2名受け入れました。白根高校のインターンシップの受け入れは2回目ですが、今回は「課題達成型インターンシップ」であり、企業からの課題に対して生徒が取り組む、より生徒に主体的な姿勢が求められる内容となっています。

当社からの課題は、藤田金属の「モノづくりでの役割」を友達に教えるA4のリーフレットを作成することです。1日目は午前中に会社概要や三条支店の概要、安全教育や商品についての説明を受け、午後からは工場へ行き、クレーンに乗って工場全体を俯瞰しながらその役割を学ぶとともに、事務所での加工指示書作成等の業務を見学してもらいました。2日目はお客様の工場を訪問し、三条支店で加工した製品が、お客様の所でどのように商品化されるのかを見学。参加生徒は大変興味深そうな様子で、積極的に担当者へ質問をしていました。3日目はリーフレットの作成です。午前中は自分たちだけで作成し、午後からは社員を交え、適宜アドバイスを受けながら完成させてもらいました。このリーフレットは9月に高校で行われる発表会で使用され、1年生を前に、自分たちがインターンシップで学んだことを発表することです。

Report 03 新潟大学キャリア授業への参画

6/13~8/1の毎週木曜日2限~4限の授業で行われる、企業人と学生のハイブリッドという授業に参画しました。9社の企業と約40名の学生が参加したこの授業は、企業の若手社員が抱えている課題に対して、授業を受けている学生とチームを組んで取り組み、最終的にその成果を発表します。当社からは、メンター役と若手社員役として2名の社員が参加し、4人の学生と一緒に「企業理解を促し、そこに魅力ややりがいを感じてもらえるようなインターンシップメニューの開発」という課題に取り組みました。

この授業はただ課題に対する成果を出すことや学生の成長だけを求めるのではなく、部下を持ったことがない若手社員が、ファシリテーターとしていかにチームの力を引き出せるかという企業側の社員教育も兼ねています。非常にタイトなスケジュールではありましたが、積極的な学生の参加もあり、内容の濃い成果発表ができました。

レポート 2019新潟まつり 大民謡流し



「新潟まつり」初日8月9日に開催された日本最大級の「大民謡流し」。参加した社員の中からお二人に感想を語っていただきました。



▲会社のロゴをモチーフにした万灯を囲んで、参加者全員で記念撮影！

初めて新潟市の伝統ある行事、大民謡流しに参加させていただきました。毎年テレビで見える光景に自分自身が加わって踊るということに少し緊張いたしました。練習などで踊ることがなかったので当日はうまく踊ることができませんでしたが、会場の熱気を肌で感じることができ、貴重な体験となりました。もしまた参加させていただく時は、しっかり踊れるように前もって練習していきたいです。

今回の大民謡流しは、私にとって約6年ぶり2度目の参加でした。新潟市の出身ではなく新潟甚句に馴染みがないため、すっかり振付を忘れてしまっていたのですが、なんとか当日は遅れをとることなく皆さんと踊れたので一安心でした！約1万5千人の人が様々な衣装で一斉に踊る様子は本当に華やかで、夏だなと季節を感じられて良かったです。

第7回「燕三条 工場の祭典」に参加します！

燕三条地域の名だたる工場が開催期間中にKOUBA(工場、耕場、購場)を開放。様々な視点から燕三条地域のモノづくりの魅力に出会えるイベントです。

【工場の祭典】開催期間/2019年10月3日(木)~6日(日)

出展企業/約110社 場所/新潟県三条市・燕市全域、および周辺地域

昨年に引き続き燕支店の参加と、三条支店の初参加が決定！

10月4日(金)、5日(土)に工場を開放し、見学会を行います。



詳細は
当社HPにて